



清風

南砺市立上平小学校
学校だより
令和5年3月
上平小学校ホームページ
<http://kamitaira-e.el.tym.ed.jp>

一体感

校長 中町 寿子

3月2日、6年生ありがとう集会がありました。5年生の子供たちが企画し、久しぶりに全校が集う楽しい会となりました。5年生は、集会名から、出し物、座席の位置、一つ一つにこだわり、協議し、全校を巻き込んでのリハーサル等、試行錯誤の連続の中で、準備をしてきました。5年生といえども、コロナ禍を経てのこの企画は、決して自分たちの十分な経験があつてのものではありません。大人であれば、効率的な方法や手際のよい段取りができたかもしれません。しかし、時には遠回りをしながら、それでも、自分たちで考え、粘り強く取り組んでいる姿から確実に子供たちのたくましさ

と熱意を感じました。集会の時間。1年の出し物に始まり、どの学年も見応えのある内容でした。そして、その場にいるだけで湧き上がる高揚感がどこからくるのだろうと思いました。そのくらい楽しかったのです。5年生の取組をずっと見守り支えてきた担任と集会の振り返りをしたときに、その正体が分かりました。「一体感」でした。それぞれの学年の取組は違っても、6年生にありがとうの気持ちを伝えようといった同じ願いが共有されたとき、その場が一つになる、空気が変わる、そういうことなのだと思います。その場にいたからこそ得られた感覚。この一体感は、また、新たなエネルギーを生み出していきます。そして、心が揺さぶられる一体感を求めて、子供たちは、また気持ちを一つにして挑戦していくこと

でしょう。共に感動を味わった私たち教職員も、改めて子供たちの次の成長に向けて精一杯取り組んでいきたいと思いを高めています。今年度も、保護者、地域の皆様方には、たくさんのご支援をいただきながら教育活動を進めることができました。誠にありがとうございました。令和5年度も、どうぞよろしくお願いたします。

《ほのぼの上平っ子8》

松ぼっくりが踏ん張っている

校長室前の像の台に、大きな松ぼっくりがあります。先日から、それがとても気になっていたAさんです。手に取り、振ってみると、かさかさ音がします。そして、何かひらひらとたくさん落ちてきます。それは、松ぼっくりの種子なのですが、羽がついているので不思議な形に見えます。Aさんは、全部その種子を出そうと考え、熱心に振るのですが、かさかさ音はすれどもどうしても出てこない種子がありました。Aさんは、その様子を見て「踏ん張っているね」と何度も言いながら振っていました。簡単には種子を出してやらないぞと言っている松ぼっくりと根比べをしているようで、何ともほほえましいひとときでした。

*次年度は、子供たちの希望で、運動クラブの他、新しいクラブが誕生することになりました。

自分たちで考えて

6年担任 笠松 志穂

いつも明るく、元気でパワフルな6年生。6年担任として、「自分たちで考え、仲間と協力しながらやり遂げられるようになってほしい」という願いをもって、1年間子供たちと向き合ってきました。最高学年としての責任ある仕事や役割は、小・中・高合同運動会から始まり、休む間もなく次々と巡ってきました。そんな慌ただしく忙しい中でも、何かの役割や仕事をしたい人を募ると、必ず立候補する子供がいました。とても頼もしかったです。そして、どの活動に対しても、「自分たちらしい行事に」「自分たちの思いが詰まった活動に」という思いをもち、子供たちは自分たちで考えながら、新しいことにどんどん挑戦して



〈在校生に本棚を渡している様子〉

きました。計画通りいかないことや、友達と意見がぶつかり合うこと、投げ出したくなる場面が数えきれないほどありましたが、仲間と話し合っ